

3-5 面接試験の準備を進める

礼儀正しく熱く語れば、大本命でも怖いもんなし！

学習のポイント

- 面接のマナーと流れを理解する。
- 面接試験に向けて自分のアピールポイントをまとめる。
- 模擬面接で実践的なトレーニングを積む。

1. 面接試験のためのトレーニング・メニュー

■LESSON 1 / 面接の前に準備をしよう

面接は試験の前からはじまっています。ここにあげるチェック項目は、面接試験にのぞむ前にクリアしておきたいポイントです。あなたの準備状況はどうだろうか。

〈面接のマナー・スタイル・チェック〉

- ①面接にふさわしい服装や髪型になっていますか
- ②面接に必要な基本的マナーが身についていますか
- ③面接にふさわしい言葉づかい（敬語表現）ができますか
- ④相手にわかりやすく聞き取りやすい口調で話せますか
- ⑤相手の顔をしっかりと見て積極的な姿勢で話せますか
- ⑥自然な表情や態度で面接にのぞむことができますか
- ⑦自分の話し方や身振りなどのくせを改善していますか
- ⑧自分自身のよさやセールスポイントをはっきりと話せますか
- ⑨志望動機をはっきりと自分の言葉で表現できますか
- ⑩就職あるいは進学に対する目的や抱負を意欲的に話せますか

	1	2	3	4	5
①	●	●	●	●	●
②	●	●	●	●	●
③	●	●	●	●	●
④	●	●	●	●	●
⑤	●	●	●	●	●
⑥	●	●	●	●	●
⑦	●	●	●	●	●
⑧	●	●	●	●	●
⑨	●	●	●	●	●
⑩	●	●	●	●	●

〈①～⑩の合計得点… 点〉

■LESSON 2 / 面接のマナーを身につけよう

面接には1つの決められた望ましい形があります。ここでは、面接者と受験生による個人面接をモデルに展開していきます。このマナーを身につけることが面接試験の基本になります。実際に面接のマナー・チェックをしながら、面接の練習をしてみよう。

〈面接の流れ〉

A：控室で

- ①指定の時間の30分前には、試験会場に到着したいもの。あわてて、気持ちが鎮まらないままに面接試験開始となつては、いつもの自分をとても表現できない。
- ②受付であいさつをして、自分の氏名、受験番号、高校名を伝える。
- ③順番がくるまで、他の受験生とおしゃべりせずに静かに待つ。
- ④名前を呼ばれたら、「はい」と返事をして試験会場へ進む。

B：入室時

- ①ドアを軽くノックをして、軽く礼をしながら、「失礼します」といって入室する。
- ②入室して、ドアを静かに閉める。
- ③椅子のわきまで進み、自分の受験番号と名前を名乗り、「よろしくお願ひします」といって、やや深めに礼をする。
- ④着席の指示を待ち、静かに椅子にすわる。

〈面接マナー・チェック〉

- ☐身だしなみの最終チェックをする
- ☐少しでもリラックスできるような笑顔を作る練習をする
- ☐試験に備えて考えたことを頭の中でいま一度、整理する
- ☐ドアを適度な音でノックする
- ☐ドアの開け閉めを静かに行う
- ☐それぞれの面接場面での適切な礼のしかたを身につける
- ☐椅子のすわり方は、背筋を伸ばして姿勢よく礼儀正しさを演出する

C：面接中

- ①面接官の質問には、質問をしている面接官の顔を見て、質問の意図をしっかりと聞き取る。
- ②質問を聞きそこねたり、質問の意味がよく理解できなかったときには、焦らず「申し訳ございませんが、いま一度お願いします」といって、再度質問をしてもらう。
- ③答えるときも、質問者の顔の方に自分の顔を向けて答える。
- ④答え方は、「明るく」「はっきりと」「早口にならないように」を心がける。
- ⑤質問の内容に答えられないときには、あいまいな返事をしたり、ごまかししたりせずに、素直に「わかりません」と答える。
- ⑥面接は人物試験。談笑ではないし、ゲームでもない。面接にじょうず、へたはない。誠実な対応と態度を心がける。

D：面接終了時

- ①「これで終わります」といわれても、まだ面接試験が終わったわけではない。退室時の後ろ姿も面接官は見ている。
- ②面接試験が終わったら、静かに椅子から立ち上がり、椅子のわきで、「ありがとうございました」といって、心をこめて深めに礼をする。

E：退室時

- ①ドアのところで、いま一度、試験官の方に向き直り、軽く礼をしながら、「失礼します」といって退室し、ドアを静かに閉める。
- ②退室後、受付で今後の連絡事項などがあるといけいないので、いま一度、確認をする。
- ③最後に一言、受付の担当者に「ありがとうございました」とあいさつをして、試験会場を出る。

■LESSON 3 / 面接の形態について調べよう

あなたの志望先の面接試験について調べて傾向を探り、具体的な対策を立てよう。

【個人面接】



〈ポイント〉
面接官は1～3人程度。プレッシャーに負けず、なごやかに進める。

【集団面接】



〈ポイント〉
他の受験生の答えにも気を配りながら、自分らしさを出したい。

【グループ討論】



〈ポイント〉
自分の意見を主張するだけでなく、他の受験生の意見も聴く。

〈面接の傾向チェック〉

面接の形態（個人面接・集団面接・グループ討論・その他） | 面接の時間（ ）分

面接の特色・内容

- ☐面接官の顔を見るときはほほえみ程度の笑顔で好印象を演出する
- ☐面接中にふだんの話し方のくせや言葉づかいが出ないように注意する
- ☐面接中にふだんの動作やしぐさのくせを出さないように注意する
- ☐わからないときは悪びれた態度をとらずに、むしろ笑顔で答える

- ☐面接がうまくいかなかったと内心思っても、最後まで気を抜かない
- ☐やっと終わった、やれやれなどという態度は見せずに緊張感を継続させる

- ☐忘れ物がないように注意する



【アドバイス】
前年度の卒業生の「受験報告書」などを参考にし、どのような形式の面接試験なのかイメージして練習をするとよい。



■評価スケール

- 1…準備不足
- 2…やや準備不足
- 3…どちらともいえない
- 4…ますます
- 5…準備完了

【アドバイス】

30点以下…徹底して練習をして自信をつけよう。
31～40点…何度も練習して自信をつけよう。
41～50点…特に弱点部分の練習をしよう。
友だちどうしお互いにアドバイスをするとうい。



【アドバイス】

面接のマナーは実際にその動作を何度も練習して自然なものにすることが大切。この解説に沿ってLESSON 5の模擬面接に取り組む。

【アドバイス】

この解説を読み、さらに面接マナーのビデオを見てイメージ・トレーニングを積んでおきたい。